

対エリトリア国 事業展開計画

2022年 4月 現在

基本方針 (大目標)	基礎生活支援を通じた社会の安定・発展
---------------	--------------------

重点分野 1 (中目標)	生活基盤の整備
-----------------	---------

開発課題 1-1 (小目標) 基礎生活環境の改善	【現状と課題】 エリトリアの主要開発指数は、一人当たりGNI740米ドル（2015年、アフリカ開発銀行）、小学校就学率68%（2018年、世銀）、5歳未満児死亡率39人/1000人（2020年、世銀）、5歳未満児発育阻害率52.5%（2010年、UNICEF）、人間開発指数は0.492で191か国中176位（2021年、UNDP）と極めて深刻である。エリトリア国民の生活を守る社会の構築が課題であるが、首都アスマラでは安全な水の供給は質・量ともに不十分な状況にある。また予防接種サービスへのアクセスは地域間の格差が依然として大きい。平和の定着及び地域の安定のためには、基本的な生活基盤の改善に取り組む必要がある。	【開発課題への対応方針】 人間の安全保障や食料安全保障の観点から、給水、農業・食料、保健分野等において国民の生活基盤の改善を支援する。
--------------------------------	--	--

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	実施期間	支援額 (億円)	SDGs	備考	
							2021 年度
基礎生活環境の改善プログラム	給水や保健分野等の支援を通じ、国民の生活基盤の改善に寄与する。	アスマラ市上水道施設運営維持管理能力向上	個別専門家	2021-2024			
		予防接種拡大計画のためのコールドチェーン機材供与計画 (UNICEF連携)	無償	2021-2022	2.72	1,3	国連児童基金 (UNICEF)
		経済社会開発計画 (給水・浄水関連機材)	無償	2021	1.50	6,9,11	
		世代間の栄養失調の連鎖を断ち切るための微量栄養素及び学校における保健と思春期の女生徒の栄養改善に係る統合的支援	マルチ	2021-2022	0.55	2,3,5	UNICEF

開発課題 1-2 (小目標) 国造りの中核人材育成	【現状と課題】 エチオピアからの独立戦争及び独立後のエチオピアとの国境紛争や経済状態の厳しさ等も相まって国民が国外に避難するなど、人材の流出が大きな課題となっており、国家の発展に必要な人材はあらゆる分野で質・量ともに不足している。エリトリアの発展のためには、人的資源、特に中核人材の育成が不可欠。	【開発課題への対応方針】 生活基盤の整備につながる分野において人材育成を行うことで、エリトリア社会の安定・発展に貢献する。
---------------------------------	---	--

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間	支援額 (億円)	SDGs	備考
国造りの中核人材育成プログラム	研修や職業訓練等を通じ、国造りの中核となる人材を育成する。	留学制度を活用した主な人材育成事業	国別研修	2021-2023			
		給水・保健分野等の課題別研修	課題別研修他	2021-2022			
		リスクのある若者の雇用創出促進	マルチ	2021	0.60	4, 8	国連工業開発機関 (UNIDO)

開発課題 1-3 (小目標) 水産業振興	【現状と課題】 紅海に面したエリトリアは豊富な水産資源を有し、水産業の潜在的可能性が高い。また、国民の多くが第一次産業従事者であり、水産業の発展は一般国民の生計向上及び国内の食料安全保障に資するものであるが、現状では水産資源の利用は限定的である。			【開発課題への対応方針】 沿岸漁業の開発戦略・アプローチに係る技術指針の策定等を通じて、同分野の抱える課題を解決し、沿岸漁業の振興に貢献する。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度			
水産業振興プログラム	水産業振興を図る上で必要とされている事項を調査・整理し、課題解決につなげる。	沿岸漁業開発戦略策定プロジェクト	開発計画										
		エリトリアにおける漁網の製造及び零細漁業支援を通じた脆弱な状況下にある女性のための食糧安全保障・栄養改善	マルチ								0.56	1, 2	国連食糧農業機関 (FAO)

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「個別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実線「———」(＝実施期間)、破線「- - - -」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf